2024/04/30　作成者：福丸直宏

ピッタリハマるって気持ちいい！

ちゅうりっぷ組さん（２歳児クラス）での出来事です。
このクラスは、子どもたち一人一人が自分の好きな遊びを集中して取り組めるように、小さなコーナーがいくつかあります。ままごとのコーナーや絵本を読むコーナー。ちょっと拓けた電車と積み木のコーナーなどさまざまです。

パトカーのパズルに苦戦しながらも集中して取り組むYくん。僕が隣に座っても見向きもしません。じーっとその姿を見ていると、どうしてもうまくハマらずちょっぴりつまらなそう。
僕もYくんにパズルの楽しさや、最後までできた時の達成感も感じて欲しいなと思っていたため、どう関わったらいいか悩みました。
すると、Yくんパズルを片付けるケースに完成した時に写真が貼ってあることに気づきます！（事前に貼ってくれてた担任の先生ナイス！！）と心で叫びました！！！

完成した時のY君のこの顔！！！できたよ！と言いたげに僕の顔を覗き込んでくれました！

きっと僕が途中で声をかけたり手伝っていたらもっと早く完成したかもしれない。
だけど、自分でできた！僕ってやればできるんだ！という自尊心をたくさん積み重ねていく中で、自己肯定感へと繋がっていく。そんな気がしました。

遊びが学び？

暖かくなると、植物も生き物も活発に動き出します。この時期の園庭には子どもたちのヒーロー「ダンゴムシ」人工芝のマットの下や花壇の近くなど、子どもたちはダンゴムシのいるところを経験の中で知っています（僕なんかよりもよっぽど詳しいです）。
「いたよー！」「見つけたー！」と子どもたちの声。４月から年長さんになった子どもたち。去年と違うのは虫かごの中に土をちゃんと入れていること。遊びの中での学び。子どもたち、立派に学んでます。生き物が快適な環境はどんな場所なのか。など、考えているのかも・・・